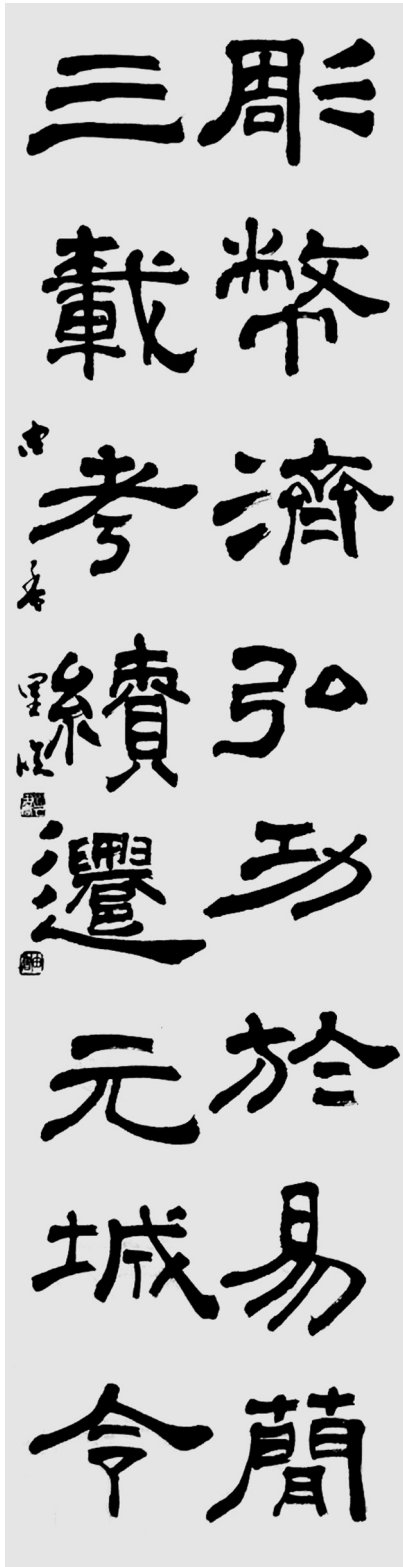




条幅規定

成家 江川 悦子

全体にや、大ぶりではあるが、多墨で運筆よく存在感のある作品となりました。隷書の古典もいろいろある。参考手本にとらわれずに多種の表現方法にチャレンジしよう。

条幅随意

師範正 角大島居美

多字数で全体をよくまとめ、さすが師範正である。たゞ個性がほしい。毎日の競書の中で新しいチャレンジ作品を発表してほしい。人生百年。大きな華を咲かせましょう。

条幅随意(臨書)

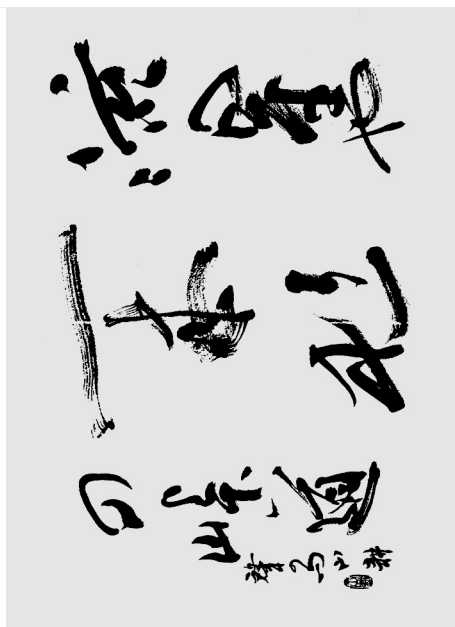
師範正 川久保由香里

古典を細部にわたり観察し、よく特徴をとらえ、一点一画、揺るぎない強靱な線の中にも暖か味と明るさ、運腕の大きさを感ずる。書に対する真剣さが伝わってくる。

半折 1/2 横

六 段 佐田 馨春

無理な表現を銜うことなく、
自己の古典に裏付けられた自然
な用筆で見えて飽きない。た
ゞ多種の表現を会得するには古
典が必要。これからの楽しみ。
がんばってください。



半紙規定

師範正 宮本 虹鶴

しっかりと地に足を
着けた書きぶり。書く
ことの楽しさが伝わっ
てくる。派手さはない
が、細部への気配りが、
作品を高尚なものにし
ている。

半紙随意

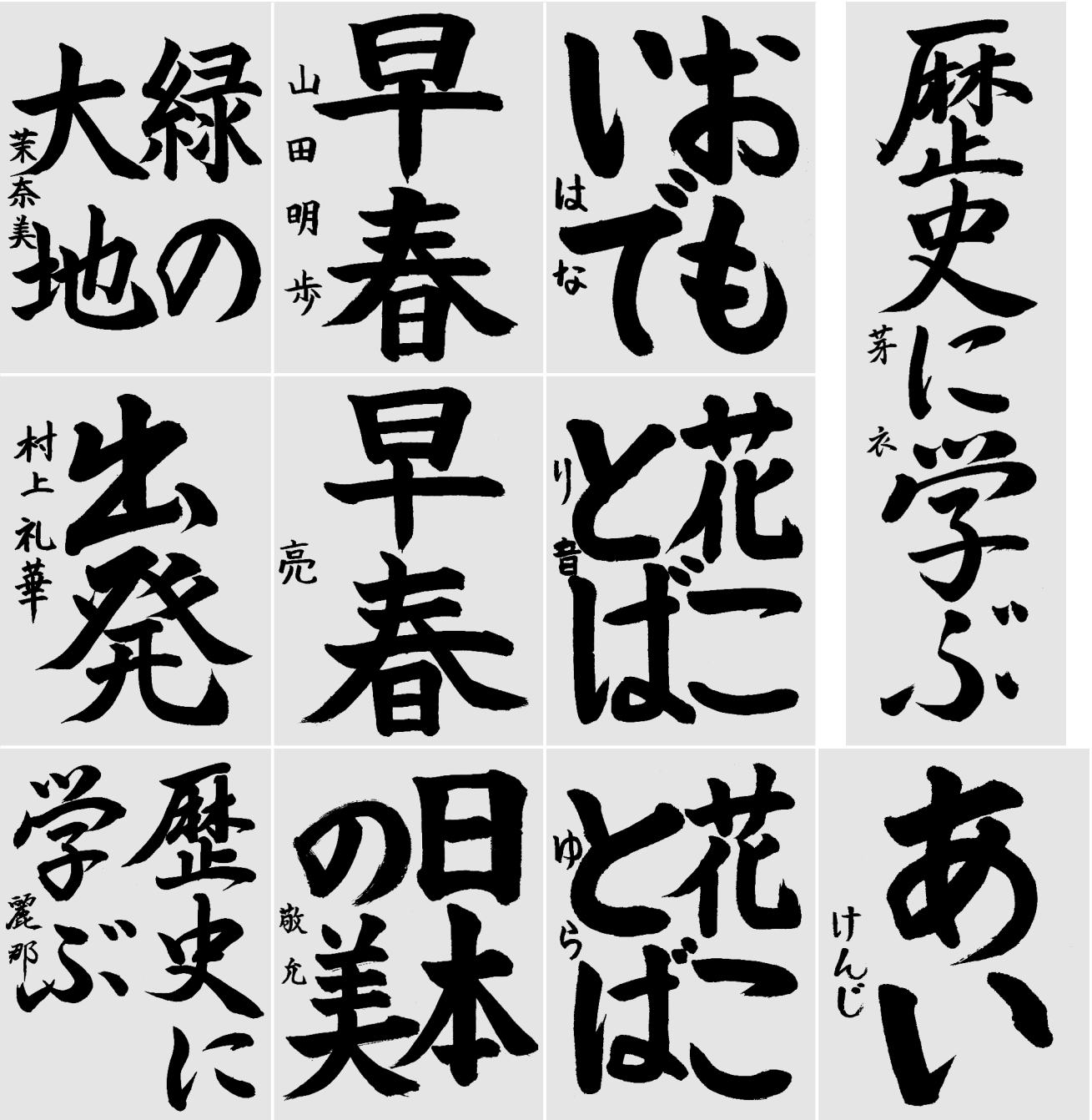
師範正 成清 山耕

や、墨量不足の感も
あるが、全体のメリハ
リの効いた線質は見事。
渴筆の「一本」が全体
を引付け、文字のデ
フォルメも効果あり。

半紙随意(臨書)

師範正 吉満 頼子

転折部分にや、難が
あるが、線が深く紙に
くい込みながら明るさ
を保つ腕は流石である。
自慢のできる古典は何
ですか。精進を。



学生部条幅 (1/4)

中三 六段 薬師寺芽衣

中学三年生での「最優秀」とても立派です。長年の努力が実を結びましたね。高校生になって是非、続けて下さい。期待大！

印山 賢慈

小一 準七級

むずかしいかだいでしたが、バランスよく、いいねに書いています。このようにしてこれからもがんばってください。

木原 羽菜

小二 二級

紙いっぱい羽菜さんの元気があふれたのびやかで明るい作品です。おしゅうじの楽しさが伝わってきます。

古賀 璃音

小三 準三段

お手本をよく観さつして、一生懸命に練習のできた作品です。筆づかいもとてもいいですね。これからもますます楽しみです。

岩辺 柚良

小三 準二級

漢字と平仮名がバランスよく、のびやかな線です。名前までいいねに書いていて好感のもてる作品です。

山田 明歩

小四 準四段

全体で伸びやかに明るく書けています。名前に本文とのバランスの良い作品です。さらに上の段を目指してがんばってください。

中西 亮

小四 準二級

「春」の三画目が少し長い点がありますが、伸びやかな線に魅力を感じる作品です。有段者に負けない力を持っています。

樋口 敬允

小五 準五段

力のこもった線で男の子らしい堂々とした作品です。終筆の押さえすぎに気をつけると作品が明るくなります。がんばってください。

川村 菜奈美

小六 準六段

素直な明るい線がとても魅力的な作品です。難しい課題でしたが、本文・名前ともに完成度の高いすばらしい作品です。

村上 礼華

中一 準五段

書道の楽しさが作品から伝わってきます。行書の筆づかいに慣れ、リズムに乗った伸びのある線で大らかに書けた作品です。

野崎 麗那

中二・三 特待生

漢字と平仮名のバランスが良く線に深味がありよく練習の出来た安定感のある作品です。今後の麗那さんの成長が楽しみです。

(坂元紫香先生評)

ただわけのわからぬ大きな力に引
きずられて走った。曰はゆらゆら地
平線に没し、まさに最後の一片の残
光も消えようとしたとき、メロスは
疾風ののごとく刑場に突入した。

働きつめの身に税重し沈丁花。花の
香りはあゝ季節のある回想と信じ
つく。この花の時期が、税の確定申告
の時期や受験期と重なるといふのは、
沈丁花にとつても不運なことであらう。

姓 名	満江恵子
-----	------

雪まうりと云えはれ幌の雪まうりがよく
知られますが、東北にも、みづのく五大雪まうり
があるのを、ご存知ですか、その一つ、機手がかまくら
へは昔ながら、たが、かまくらの中では甘酒や
土餅で饗た土餅を、たが、冷えた体と心が
暖かくなります。

他のなほ、もう二月に開催されます。九州には
ない、寒い地方の伝統文化に触れ、東北を盛り
上げてください。

篤子

暖かくなりまた、
他のお祭りも二月に開催されます。九州には
ない、寒い地方の伝統文化に触れ、東北を盛り
上げようきましました。

河野 七海	中学 六段	動きのある伸びやかな線で明るく作品をまとめている点に腕の確かさを感じます。これからも頑張って“特待生”を目指して下さい。
満江恵美子	一般 師範正	音楽を奏でるような力みのない軽妙で無理のないペン運びが自然です。漢字と平仮名のバランスが絶妙な明るい作品です。
檜橋 篤子	一般 師範正	お手本に捕われず、リズムの取り方が自然で、全体的に一貫したペン運びが見事です。長年の努力が実を結んだ白眉の作です。